



行政自治会だより

令和元年8月1日発行

第25号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 熊木 津佐雄

自治会長・行政区長委嘱状交付式及び感謝状贈呈式

令和元年度感謝状受賞者

地区	自治組織名	氏名	在職年数
第15	新東諸川	菊 地 道 雄	6年
第15	諸川上町一	黒 川 英 明	6年
第7	鴻巣二丁目	野 口 勝 彦	5年
第3	住吉町	林 照 雄	5年
第2	新原	中 田 英 一	4年
第4	神明町	堀 江 好 男	4年
第20	新立	蒔 田 穰	4年

（敬称略 在職年数順）

平成31年4月12日、とねミドリ館（生涯学習センター総和）において、委嘱状交付式が行われました。自治会長・行政区長と第1～20地区の正副地区長へ市長から委嘱状が手渡されました。

続いて在職4年以上で退任された自治会長・行政区長に感謝状と記念品が贈呈され、受賞者7名を代表し、諸川上町一行政区の黒川英明様が挨拶を述べられました。



長い間、ありがとうございました。

正副地区長会議報告 役員が決まりました！

平成31年4月12日、委嘱状交付式終了後に、第1回正副地区長会議が行われました。この会議で、古河市行政自治会の役員及び新年度の事業計画や予算について協議し、承認されました。

役員名簿及び正副地区長名簿については、以下のとおりです。

正副地区長名簿

地区名	地区長	自治組織名	副地区長	自治組織名
第1	小 堀 英 男	桜町	須 田 昭 二	観音寺
第2	綿 引 正 衛	原	齋 藤 満	鍛冶町
第3	吉 田 昭 万	下三	三 村 洋 輔	下山一丁目
第4	蜂 須 誠 司	中田町	上 石 詔 二 郎	上町
第5	中 村 仁	中横	大 高 忠 男	米
第6	長 濱 弘 道	三杉町	小 川 久 雄	緑町
第7	熊 木 津佐雄	鴻巣一丁目	佐久間 禎 雄	新久田三丁目
第8	藤 原 孝 道	関戸	稲 葉 豊	稲宮
第9	長 濱 忍	東泉町	古 谷 芳 和	今泉
第10	金 谷 哲 哉	女沼	田 邊 映 二	フレッシュタウン
第11	斉 藤 喜久次	下辺見	竹 村 洋 左 右	上辺見南町
第12	岩 元 俊 二	駒羽根住宅団地	白 石 芳 巳	駒羽根
第13	五月女 光 男	内水海	西 澤 市 郎	高野
第14	若 林 俊 彰	久能せせらぎ	落 合 秋 男	久能
第15	那 須 和 弥	諸川西部	鈴 木 榮 治	東諸川
第16	梅 津 信 男	上片田宮前	大 木 博 行	駒込
第17	齋 藤 彰	下片田	水 出 豊	大和田上
第18	佐 藤 智 之	仁連上町二	渡 邊 和 司	仁連上町五
第19	湯 本 豊	小立野第二	小 林 浩 二	沼影第二
第20	峯 本 茂	本田山	平 間 基 始 男	下尾崎二

役員名簿

役職名	氏 名	地区名
会 長	熊 木 津佐雄	第 7
副会長	五月女 光 男	第13
副会長	那 須 和 弥	第15
理 事	蜂 須 誠 司	第 4
理 事	長 濱 忍	第 9
理 事	佐 藤 智 之	第18
会 計	長 濱 弘 道	第 6
監 事	岩 元 俊 二	第12
監 事	峯 本 茂	第20

目次 (P2.以降)

- P2. 正副地区長視察研修（阿見町）
渡良瀬クリーン作戦
第10回行政自治会親善ソフトボール大会
- P3. 地域の話題紹介（三杉町 さくらまつり）
（久能行政区 三世代交流事業）
（第19地区 ふきの芽一座）
- P4. 市内歴史散歩（三和地区の町村変遷）

地区長・副地区長視察研修が行われました



自治会運営について様々な質問が出されました

2月8日（金）に恒例の地区長・副地区長視察研修が開催され、茨城県稲敷郡阿見町の「筑見区自治会」を視察研修させていただきました。

筑見自治会館において「筑見区自治会」の概要や福祉活動等を、中川自治会長からパワーポイントを活用して説明がありました。

「筑見区自治会」は、阿見町の西部に位置し、昭和46年より入居が始まった住宅団地です。

現在は、約360世帯の居住者により構成されています。

同世代の世帯が短期間に入居したことにより、平成20年代より高齢化が顕著となりました。

このような状況から、筑見福祉計画策定委員会を設置し、平成23年3月に「筑見福祉計画（ガイドライン）」を策定、積極的に福祉事業を推進するため、様々な活動を行っています。

例えば、「ふれあい」と称し高齢者や障がい者が無料で利用できる、駅や病院への送迎を行うシステムの構築。また、防災倉庫を改修して「筑見ふれあい館」を作り、喫茶室・子供図書室・多目的室を備え、ボランティアの運営による自治会員が交流できる場の提供。他にも大変参考になる活動が多々ありました。筑見区自治会は、このような活動が認められ、平成25年度に「地域づくり総務大臣表彰」を受賞しました。

同様な高齢化住宅団地を抱える地区長・副地区長からは、関心を持った様々な質問があり、中川自治会長の回答に真剣に聴き入っていました。

（広報委員 尾沼 卓）

渡良瀬クリーン作戦が行われました

4月13日（土）8時30分より利根川上流河川利用者協議会主催の「渡良瀬クリーン作戦」が実施されました。

渡良瀬遊水地の自然環境保全と美化意識の高揚を目的としたもので、早朝より行政自治会をはじめ小中学校・企業・各種団体の方々2,250名の協力を頂き、マレットゴルフ場から県境までのゴミを収集しました。

集めた量は3.2トン、お陰さまで元の綺麗な河川敷となりました。ボランティアの皆様お疲れ様でした。

（広報委員 長濱 弘道）



家族みんなで参加しました

第10回行政自治会親善ソフトボール大会開催

6月2日（日）、今年はいつもの暑さとは違い、薄曇りで過ごしやすく風もある中で、古河市行政自治会親善ソフトボール大会が開催されました。各グラウンドでは熱戦の中にも笑いがあり、楽しい親善が行われました。

（広報委員 若林 俊彰）

第10回行政自治会親善ソフトボール大会

チャレンジ部門 (男子の部) 参加29チーム	A：上辺見南町、B：駒羽根、C：関戸、D：上辺見 E：諸川西部、F：下大野、G：葛生、H：柳橋
チャレンジ部門 (女子の部) 参加3チーム	女沼行政区
エンジョイ部門 (男女混成) 参加39チーム	A：静町、B：中田町、C：大工町、D：新久田三丁目 E：けやき平、F：下山一丁目、G：緑町 H：雷電一丁目、I：坂間町、J：常盤台



練習の成果があらわれます

三杉町自治会 第32回さくらまつり開催！



満開の桜のもと、交流を深めました

三杉町自治会では毎年4月第1土曜日に親睦を図るため、三杉中央公園（通称タコ公園）で「三杉町さくらまつり」を開催しております。

今年は4月6日（土）に開催し、午前中は子どもを中心にクイズやパズル、パン食い競争などで楽しみました。午後5時からは花見の宴を開き、約350名の参加者は、毎年楽しみにしています。用意された飲み物や焼きそば、豚汁を味わいながら、カラオケに参加し、ゲストのバンド演奏に酔い、抽選会で参加者は一喜一憂。

今年で第32回目、桜は満開。花冷えのない暖かい、改元の年にふさわしい「さくらまつり」でした。

（広報委員 長濱 弘道）

久能行政区 三世代交流事業～さつまいも苗植えから収穫まで

久能行政区で行われている事業【三世代交流 土を通してふれあい・ともに教え学ぶ】を紹介します。

久能行政区では、平成20年度からコミュニティセンター協の農地を無償で借り受け、花の植栽を行い「花いっぱい運動」を行ってきました。その後、非農家の住民が多いこともあり、6年ほど前から子供たちへの「土とふれあい、野菜作りへの関心を育む」目的で、さつまいも作りとなりました。

5月19日、むつみ会（おもに65歳以上）・女性部・子ども会後援会と地域の子どもたちが参加し、約80人でさつまいも苗植えを行いました。今後は、8月の除草作業から10月中旬の「おいしいさつまいも」収穫へと続きます。晴天の耕された畑のなかで、子どもたちは慣れない手つきで汗をかきながら沢山の収穫を夢見て、さつまいも苗の植え付けをしました。



協力し合いながら、苗を植えていきます

（広報委員 若林 俊彰）

「新春ふきの芽一座」の公演（第19地区）



堂々とした演技で観客を魅了します

第19地区コミュニティ「八俣ふきの芽会（小林浩二会長）」では、行政区行事の一つとして、毎年新春に「ふきの芽一座公演（篠原英二座長）」を開催しています。団員は約40名ですが、すべて素人の方ばかり。公演3ヶ月前から毎週1回のリハーサルに励み、今年は3月3日に「ふた「はは顔の母」を演題として、義理と人情の世界を見事に熱演しました。

すでに25年にわたり、計22回の公演を重ねており、出演者はプロにひけをとらぬ演技力で、毎年300人を超える観客を魅了しています。（広報委員 北山 正）

市内歴史散歩（第23回）三和地区の町村変遷

現在の古河市三和地区には、江戸時代、3町23か村の町村がありました。内訳は約半数が幕府領、その他は下野壬生（現：栃木県壬生町）藩領、下総古河藩領、下総関宿（現：千葉県野田市）藩領、丹後峰山（現：京都府京丹後市）藩領で、支配関係が非常に複雑でした。

明治4年（1871）の廃藩置県当初も、関宿県・古河県・壬生県・峰山県・葛飾県・若森県の所管に分かれますが、統廃合され、すべてが印旛県の管轄（その後、千葉県→茨城県へ移管）となります。

そして翌5年、行政区画として、江戸時代以来の郡・町村に代わって大区小区制がしかれ、通し番号が付けられますが、定着しませんでした。

明治11年（1878）、郡区町村編制法が公布され、大区小区制は廃止。郡と町村が行政区画として復活します。さらに法改正され、大規模に町村を組み合わせる一つの戸長役場を設置する連合戸長役場へと発展。三和地区では諸川町連合（諸川町・諸川新田・五部村・上和田村・下片田村・大和田村・上片田村・駒込村・仁連町・仁連町新田・新和田村・北山田村）、谷貝町連合（谷貝町・山田村・東山田村・東山田村新田・猿島郡長左衛門新田）、水口村連合（恩名村・恩名村新田・結城郡長左衛門新田・成田新田・水口新田・尾崎村新田・江口村）、田間村連合（尾崎村）が構成され、明治の大合併の原型となります。



昭和41年 旧八俣村役場庁舎（三和資料館所蔵）

明治21年（1888）4月、市制町村制が公布

され、連合村は廃止。大合併が促進され、三和地区でも、翌22年4月、改正連合村の組み合わせをベースに、諸川町・五部村・上和田村・諸川新田・下片田村・大和田村・上片田村・駒込村・新和田村・仁連町が合併して猿島郡幸島村に、北山田村・山田村・東山田村・猿島郡長左衛門新田・谷貝町が猿島郡八俣村に、恩名村・結城郡長左衛門新田・成田新田・水口新田・尾崎新田・江口村・尾崎村が結城郡名崎村になります。



昭和49年 旧幸島村役場庁舎（三和資料館所蔵）

昭和22年（1947）4月、新たに地方自治法が公布、市制町村制は廃止され、さらに昭和28年（1953）10月には町村合併促進法が施行、各地で合併の枠組みが模索されます（昭和の大合併）。三和地区では、幸島村・岡郷村（現：古河市総和地区）・八俣村・名崎村の4か村合併協議が進められましたが、岡郷村が離脱。幸島村・八俣村・名崎村での3か村合併が決まり、昭和30年（1955）2月11日、三和村が誕生。この際、旧幸島村大字諸川新田が大字東諸川に、旧名崎村大字長左衛門新田・水口新田・尾崎新田が大字間中橋に、成田新田が大字成田（同年、八千代村に編入）に変更されました。さらに昭和44年（1969）1月1日、三和村は町制施行して「三和（さんわ）町」が、そして約40年を経た、平成17年（2005）9月12日、古河市・総和町・三和町の合併により新「古河市」が誕生しました（平成の大合併）。

（三和資料館学芸員 白石 謙次）

編集後記

新元号になり約3ヶ月が過ぎ「令和」が馴染むようになってきました。各自治会・行政区において、新たな活動等を計画しているところもあるかと思えます。「行政自治会だより」も、内容等について広報委員一同皆様に興味をもって読んで頂けるよう検討しております。令和が平穏な時代でありますようお祈りします。（広報委員長 梅津 信男）

行政自治会広報委員会

委員長 梅津 信男
委員 鶴見 尚司 蜂須 誠司 長濱 弘道
尾沼 卓 白石 芳巳 若林 俊彰
北山 正 西村 榊